

富山湾南部における海底地形調査結果（続報）

富山県高岡市沖の海底谷周辺における能登半島地震前後の海底地形データ*を比較した。この結果、海底谷を挟む南北約3km、東西約0.5kmの範囲（水深約15～350m）の各所で、斜面崩壊や海底谷底の下刻とみられる地形変化が認められた（図2～4）。

高岡市伏木では令和6年1月の能登半島地震発生後の2分後に津波が到達しており（川口ほか, 2024）、高岡市の沿岸近傍（今回の海底地形調査海域付近）に津波の波源が存在する可能性が指摘されていた（対馬ほか, 2024）。今回確認された斜面崩壊が津波発生の原因になった可能性がある。

*使用データ：（地震前）2010年北陸地方整備局伏木富山港湾事務所
（地震後）2024年11月海上保安庁及び2024年新湊漁業協同組合

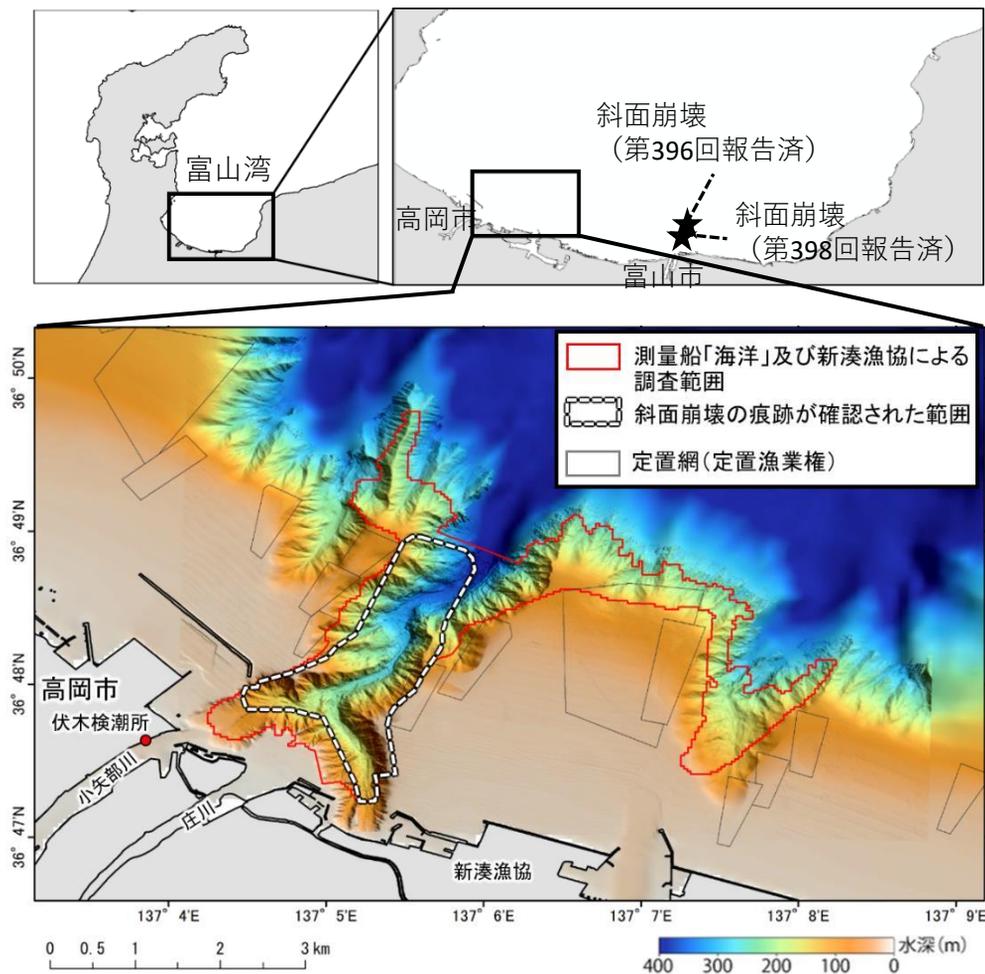


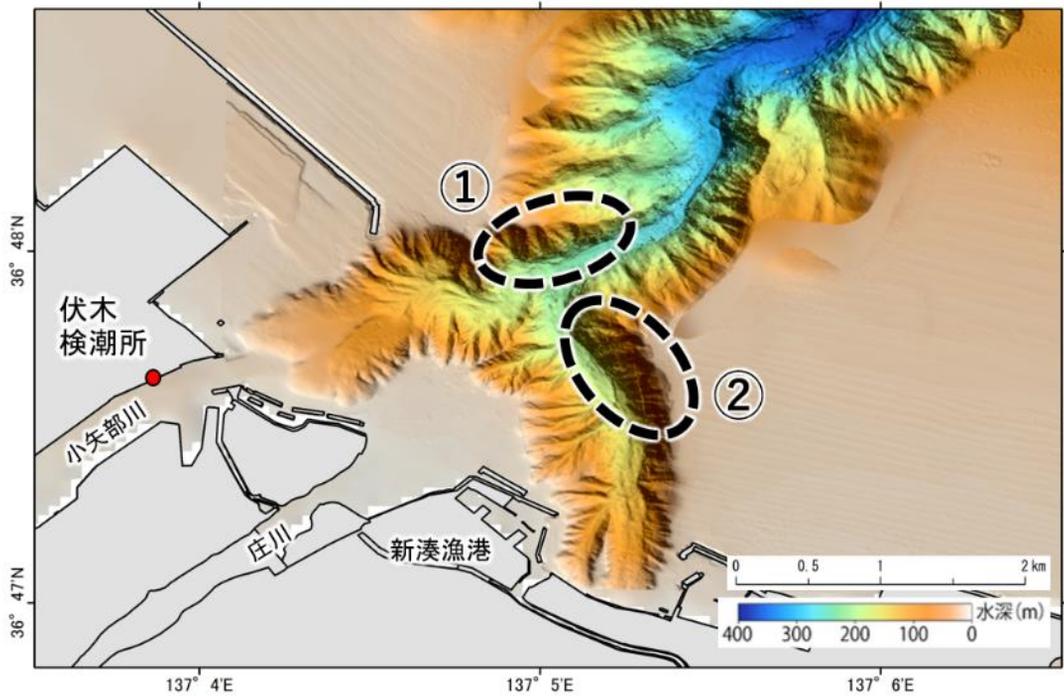
図1 高岡市沖の調査範囲

【引用文献】

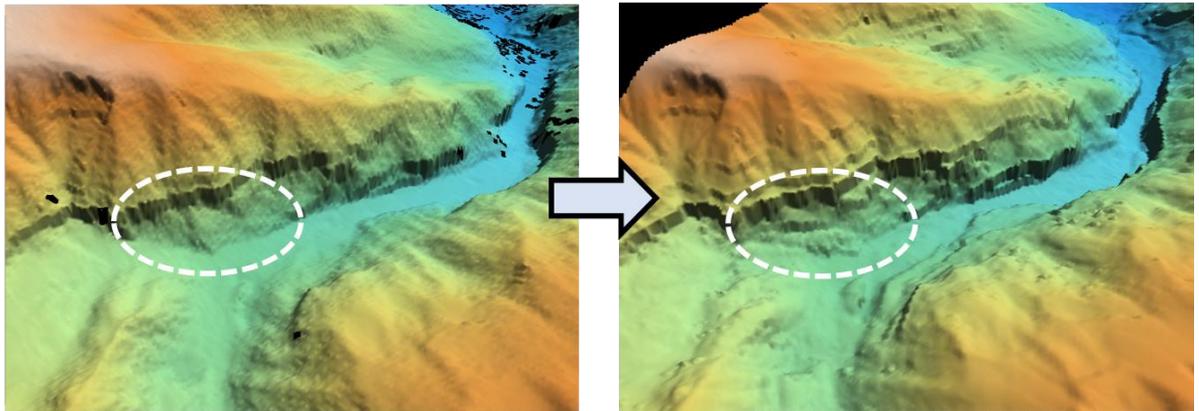
川口浩二・藤木峻・田中陽二・額賀恭史・村瀬博一（2024）土木学会論文集, v80, 18, 24-18093.
対馬弘晃・南雅晃・林豊（2024）JpGU Meeting 2024, HDS11-12.

【謝辞】

北陸地方整備局伏木富山港湾事務所には2010年取得の海底地形データをご提供いただきました。新湊漁業協同組合には2024年取得の海底地形データ（水産庁「令和6年能登半島地震漁場等機能回復対策事業」を活用）をご提供いただきました。記して感謝します。



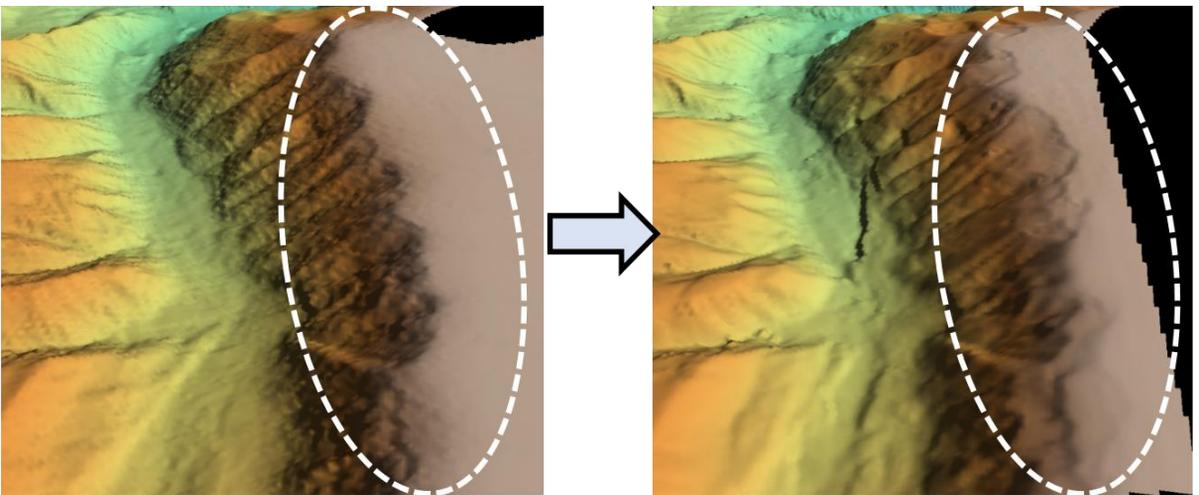
①伏木航路



2010年の北陸地方整備局伏木富山港湾事務所の調査結果(鳥瞰図)

2024年の測量船「海洋」及び新湊漁協の調査結果(鳥瞰図)

②新湊漁港港口付近



2010年の北陸地方整備局伏木富山港湾事務所の調査結果(鳥瞰図)

2024年の測量船「海洋」及び新湊漁協の調査結果(鳥瞰図)

図2 2010年と今回(2024年)の海底地形の比較

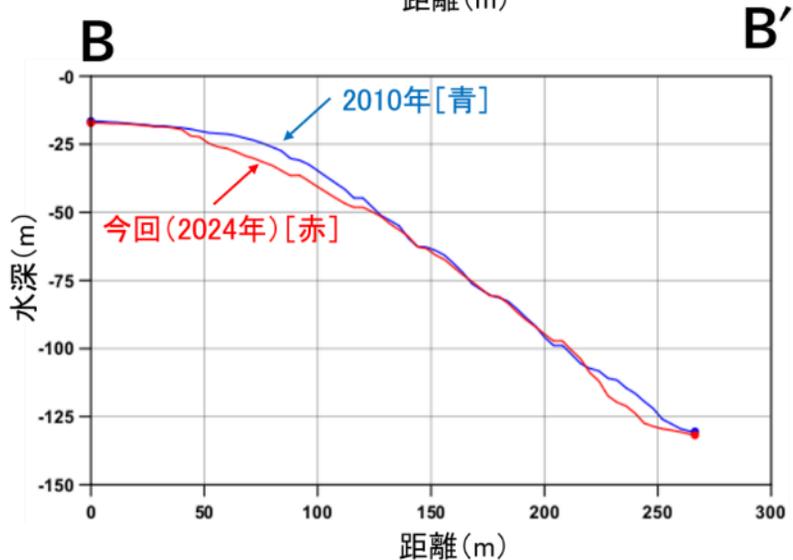
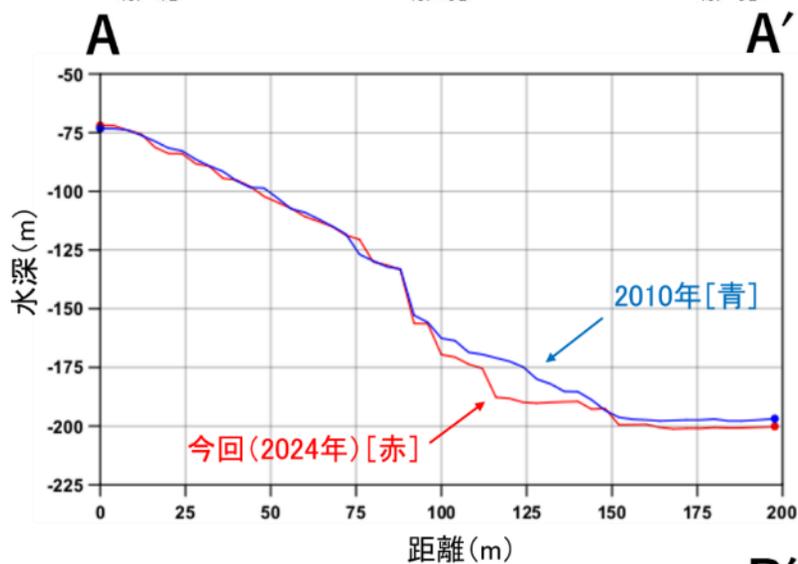
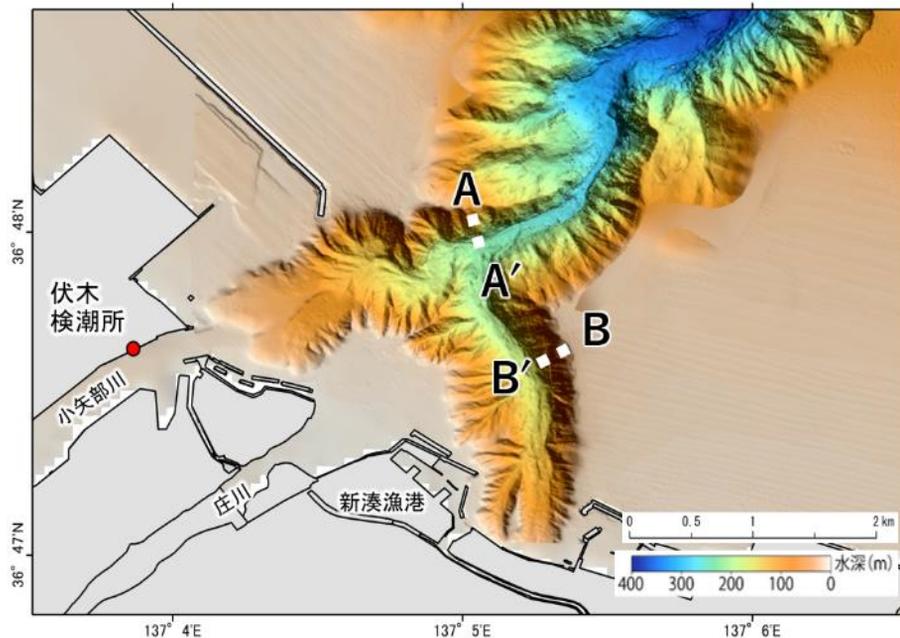


図3 2010年と今回（2024年）の海底地形の比較（断面図）

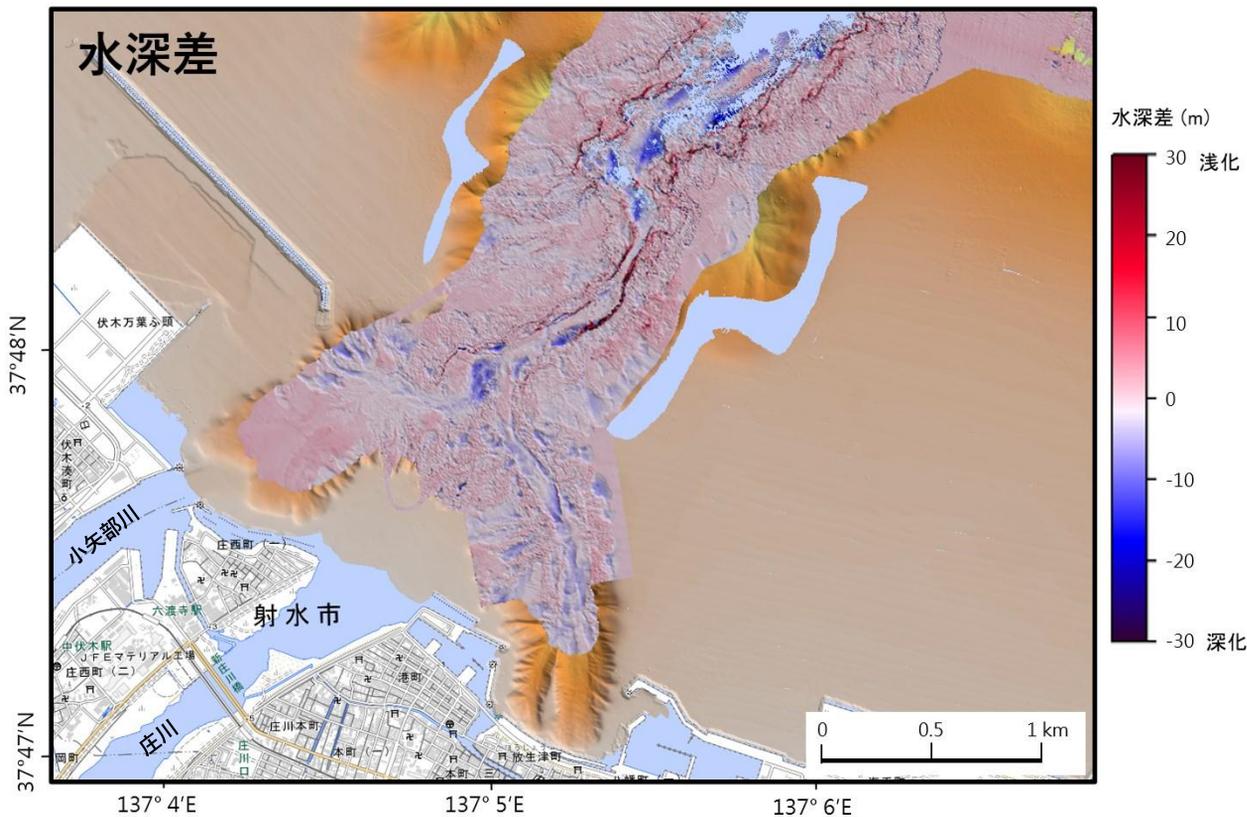
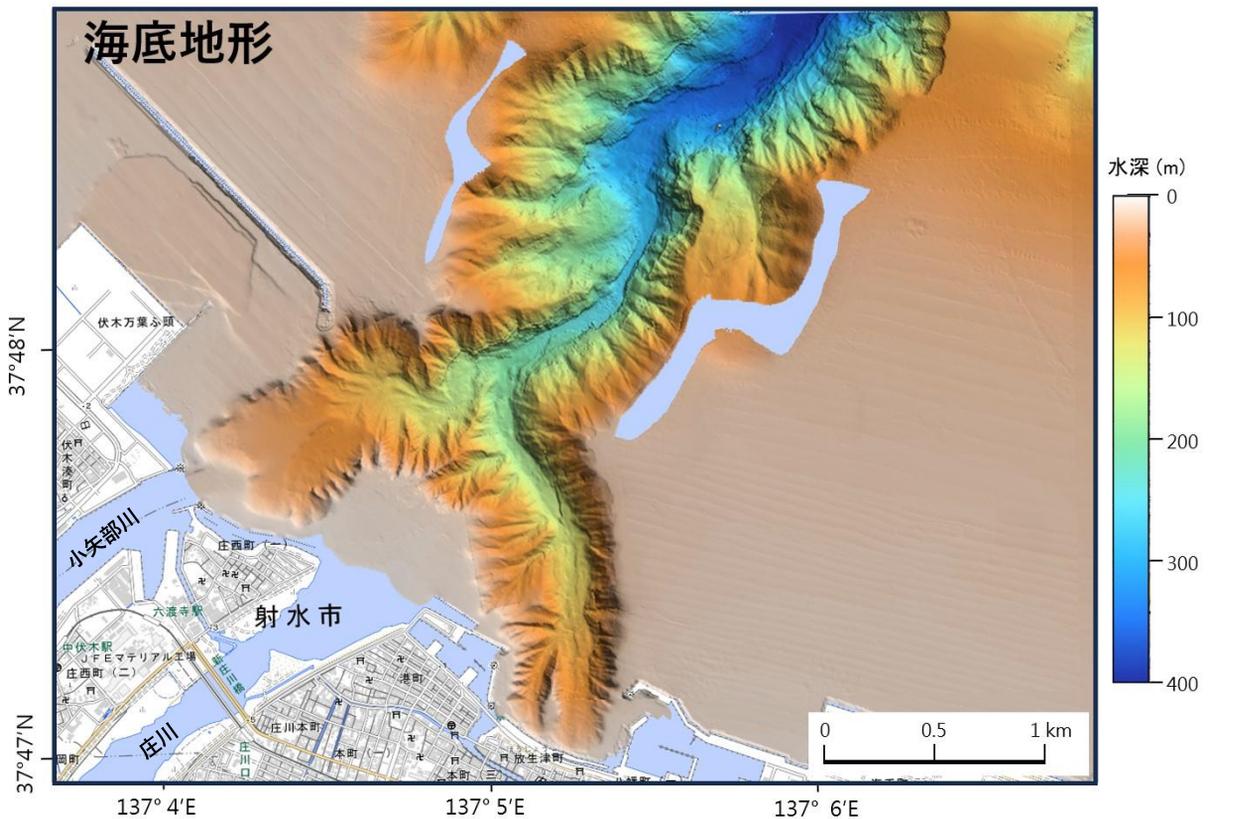


図4 2010年と今回（2024年）の水深差

上図：2024年取得の海底地形データを2020年のデータで補完。下図：2010年と2024年との水深差（赤：浅化、青：深化）。背景は地理院地図を使用